

2021年度

学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2021年4月 1日

至：2022年3月31日

都築教育学園

鹿児島第一医療リハビリ専門学校

目 次

1. 目 的	2
2. 評価項目	2
3. 評価組織	2
4. 実施の概要	2～3
5. 細部実施事項	3～4
6. 評価結果	4～5
7. 総 括	6

別 紙「学校関係者評価アンケート結果」

1 目的

次の目的をもって学校関係者評価を実施した。

- (1) 学校運営について評価して頂き、今後の改善を図る上での資を得る。
- (2) 学校としての説明責任を果たし、学校運営に関する理解と協力を得て、より良い学校づくりを進める。
- (3) 頂いた評価を下に改善措置を講じることにより、教育の質の向上を図る。

2 評価項目

次の項目について、関係法令等に基づき法規・適正に効率的に行われ、所望の効果をj得ているかを評価して頂いた。

- (1) 学校運営
- (2) 教育活動
- (3) 教育成果
- (4) 学生支援
- (5) 学習環境
- (6) 募集広報
- (7) 学校評価
- (8) 情報公開

3 評価組織

- (1) 評価委員（個人名は略）
 - ア 委員長：学校後援会会長
 - イ 委員：理学療法学科 保護者
作業療法学科 保護者
言語聴覚学科 保護者
柔道整復学科 保護者
はり・きゅう学科 保護者
- (2) 学校教職員
 - ア 校長長、各学科長及び各学科教員
 - イ 事務局：事務長以下、事務職

4 実施の概要

- (1) 実施時期・場所
2022年4月17日（日） 鹿児島第一医療リハビリ専門学校
- (2) 実施事項
 - ア 全般説明
 - イ 自己評価報告書
 - ウ 各学科の公開授業

- エ 教育施設・設備及び教育研究機器類の確認
- オ 評価アンケートの記入
- オ 各評価委員による意見交換
- カ 懇談

5 細部実施事項

(1) 全般説明

次の事項について、学校の現況、取り組みなどについて説明を行った。

- ア 新型コロナウイルス感染拡大に伴う本校の対応
 - (ア) 感染拡大のための取組
 - (イ) 遠隔授業への対応
- イ 学校の状況・実績（学生の在籍状況等）
- ウ 令和3年度学校運営
 - (ア) 教育理念及び業務計画
 - (イ) 運営組織
 - (ウ) 規則類の整備
- エ 教育活動
 - (ア) 3つのポリシー
 - (イ) カリキュラム改正（民間資格取得のための教育）
 - (ウ) 他職種連携教育
 - (エ) 教育機器類の充実、教育要領の改善
- オ 教育成果
 - (ア) 休学・留年・退学の状況
 - (イ) 国家試験合格状況（令和3年度）
 - (ウ) 求人・就職先等の状況（令和3年度）
 - (エ) 表彰・受賞
- オ 学生支援
 - (ア) スクールバス及び学生寮
 - (イ) 就職支援、卒業後のフォロー
 - (ウ) 学生のカウンセリング
 - (エ) 経済的支援
- キ 健康管理・安全管理
 - (ア) 学生の健康管理
 - (イ) 学生の安全管理
- ク 募集・広報
 - (ア) 主要な募集広報活動
 - (イ) 入学者数及び充足率の推移
 - (エ) オープンキャンパス参加実績

ケ 学校評価

(ア) 学校評価の概要

(イ) 学校評価の結果

ク 情報公開

ケ 令和4年度学校運営

(ア) 方針・重視事項

(イ) 主要な取り組み

(2) 各学科の公開授業

次のとおり、各学科長等の随行・説明の下に各学科の授業を評価委員に公開し、カリキュラムに基づく教育の実施状況、特に、教育内容、教育要領（教育型式・方法等）、教員の資質・能力等について評価して頂いた。

ア 理学療法学科：学びの技法等の収録動画（1年・2年・3年）

イ 作業療法学科：精神機能作業療法学（2年）

ウ 言語聴覚学科：言語発達学演習Ⅰ（2年）

エ 柔道整復学科：保健医療（3年）

オ はり・きゅう学科：関係法規（3年）

(3) 教育施設・設備及び教育研究用機器の確認（実視）

次のとおり、学科長の随行・説明の下に各学科の主要な教育施設・設備及び主要な教育研究用機器類を評価して頂いた。

ア 理学療法学科：機能訓練室、基礎医学実習室、水浴室、装具加工室

イ 作業療法学科：

日常動作訓練室、木工・金工・陶芸教室、織物・手工芸・絵画教室、装具加工室

ウ 言語聴覚学科：聴力検査室、観察室・訓練室

エ 柔道整復学科：柔整実技実習室、附属整骨院、附属柔道場

オ はり・きゅう学科：はり・きゅう実技実習室、附属鍼灸院

(4) 評価アンケートの記入

学校運営に係わる各評価項目（8区分・24項目）に対し三択方式（「適切になされている。」、「改善すべきところがある」又は「わからない」の三択）によるアンケートを実施するとともに、改善意見・要望等の自由意見を記入して頂いた。

(5) 各評価委員による意見交換

評価結果及び学校関係者評価の実施に関する所見について、各評価委員から所見を開陳して頂いた。

(6) 懇談

学科ごとの懇談形式により、当該学科担当の評価委員と学科長及び教員との間で、学校運営や学生教育について情報交換・意見交換を行った。

6 評価結果

(1) 学校運営

「運営方針・事業計画等は策定されているか。」、「運営組織等は組織され機能しているか。」及び「学生本位の業務運営はなされているか。」の全項目に対し、「適切になされている。」との評価を頂いた。

(2) 教育活動

「科目に応じた教員を確保しているか、またその能力・資質は適切か。」については、「わからない。」との指摘を1件頂いた。今後、教職員の活動や臨床経験など分かり易く明示していく必要がある。

(3) 教育成果

「留年・退学者の抑制のための努力はなされているか。」については、「改善すべきところがある」との評価を頂いた。本年度は抑制のための改善策の実行が必要である。

(4) 学生支援

3項目において「適切になされる」という意見を頂いた。今後も継続した支援が必要である。

(5) 学習環境

3項目において「適切になされる」という意見を頂いた。

(6) 募集広報

「入学選考は適切に行われているか。」において、分からないという意見を頂いた。今後、説明をしっかりとっていく必要がある。

(7) 学校評価

「適切な自己評価・自己点検」の項目に対し、「適切になされている」との評価を頂いた。

(8) 情報公開

「必要な情報の提示提供」の項目に対し、「適切になされている。」との評価を頂いた。

(9) 自由意見

ア 国試対策の意味でも、今後オンデマンド（試験対策用の録画教材、あるいはGoogle FormやMoodleを用いた選択式or記述式の自学自習教材）の学習教材をより充実したらどうかと考えます。教員が1人1人に対応する負担が減る（最初の教材作成はもちろん大変ですが）という側面もありますし、学生が繰り返し学習する事で、国試合格率の向上もはかれるのではと思います。

イ 柔道場へのエアコン設置と畳の張替えや考えてもらいたいです。熱中症とケガが心配です。授業への集中もつながると思います。

(10) 別紙「2020年度学校関係者評価アンケート結果」

7 総括

(1) 実施事項・内容及びその要領等を含め評価の取り組み自体については、全ての評価委員から高い評価を頂いた。本校としても、学生教育をはじめとする学校運営全般について、学校関係者への説明責任を果たすとともに、これら関係者のご理解とご協力を得る貴重な機会となったことは大変有意義であった。

(2) 評価項目の殆どに肯定的な評価を頂いた。

国試対策の意味でも、今後オンデマンド化や柔道場へのエアコン設置と畳の張替えに関しては、次年度以降に改善を要す必要がある。

(3) 次年度の学校関係者評価においては、今回の実施内容・要領を踏まえ、学校の現況や新たな取り組みについてより理解を深めて頂くとともに、幅広く貴重な意見等を頂けるよう、引き続き改善を図っていく。